

ら
ホースを担ぎ、全力疾走する団員



副
管理者である小峰町長から激
励の言葉を受ける鳩山消防団員



西入間広域消防組合では、火災などの有事の際に消防署員をサポートし、地域の安全を守る消防団員を募集しています。問合せ：西入間広域消防組合警防課 ☎ 295-0154

迅速さと安全性を3町の消防団員が競った 埼玉県消防協会西入間支部 消防ポンプ操法大会

迅速さと安全性の消防技術を競う、第17回埼玉県消防協会西入間支部（毛呂山町、鳩山町、越生町）消防ポンプ操法大会が6月15日、毛呂山総合公園で開催され、3町の消防団員たちが日ごろの訓練の成果を出し合いました。

大会後、西入間広域消防組合副管理者である小峰町長が、練習で培った技術とチームワークを実際の現場でも活かしてほしいと、団員に激励の言葉をかけていました。

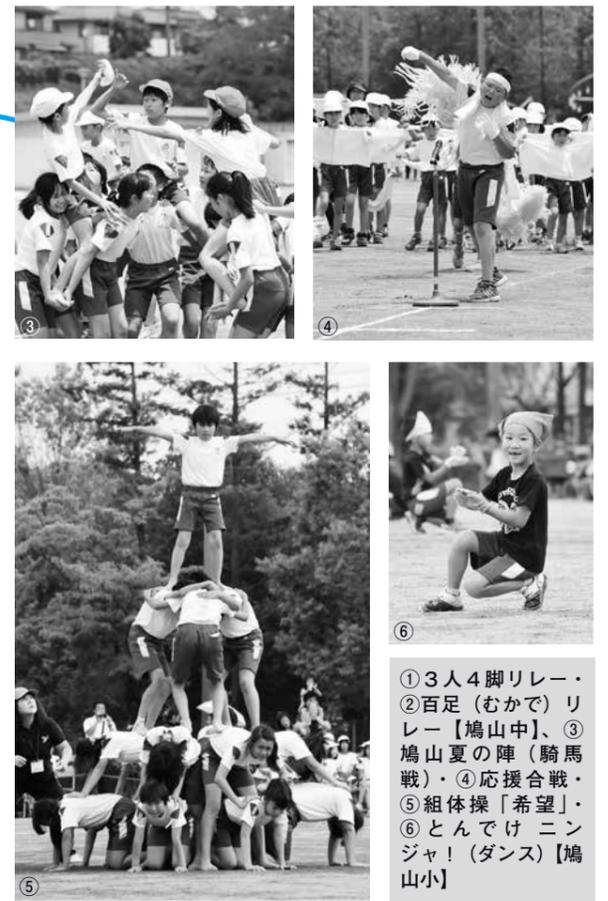


ホース延長作業に飛び出す団員ら

仲間とともに笑顔と汗がはじけた 町内の小中学校で運動会・体育祭

5月31日に鳩山中学校で体育祭が、6月10日には鳩山小学校、今宿小学校、亀井小学校で運動会が開催され、各会場では大きな声援が響き渡っていました。

鳩山中学校では、各学年に渡る混合チームを編成し、団長を中心に一致団結して、熱のこもった競技や応援が繰り広げられていました。また、鳩山小学校では、今年のスローガン「走り出せ みんなの力は無限大」を元に、これまで培った絆の力を発揮し、持てる力を精一杯振り絞っていました。



① 3人4脚リレー・② 百足（むかで）リレー【鳩山中】、③ 鳩山夏の陣（騎馬戦）・④ 応援合戦・⑤ 組体操「希望」・⑥ とんでけ ニンジャ！（ダンス）【鳩山小】

グ
ループディスカッション
話し合う受講者



郷土を知り、人権問題を考える 平成26年度「女と男の生き方学級」開講

5月22日、女と男の生き方学級（主催：町教育委員会生涯学習課）の第1回講座が公民館石坂分館で開催されました。この教室は、人権問題を考えるとともに、地域住民の交流を目的として、運営委員会での協議により企画された全5回が開催されます。

第1回講座では、今年度のテーマである「郷土を知ろう～比企地方の歴史と自然～」のもと、自身の郷土での行事や方言などを話し合いました。参加者は「他の方の郷土のことを聞けてとてもためになった」とグループディスカッションでの談笑を楽しんでいました。

認知症高齢者見守り事業に約110人が参加 認知症講演会が開催

6月10日、ふれあいセンターで「認知症が気になる！あなたに！」と題した講演会（主催：町地域包括支援センター）が行われました。

講演会では、埼玉県認知症疾患センター（秩父中央病院）の常勤医師で、日本医科大学名誉教授の黒澤 尚医師が、認知症になった場合の事前準備や対処方法、病院の選び方などについて、精神科医の見地から説明しました。参加者は「実生活に役に立つ、具体的な認知症の話が多く、分かりやすかったです」と話していました。



認知症の対処方法について説明する黒澤医師

秋の収穫に向け16人が田植え作業 もち米づくり体験教室

農村公園体験農園で6月5日、もち米づくり教室（主催：町産業振興課）の田植え作業が行われ、町内から16人が参加し、参加者は、手植え作業で苗を丁寧に植えていました。

教室は、田植えから稲刈り、脱穀作業まで参加者が一貫して行うもので、参加者からは「自分で植え付け、収穫したもち米で作るお餅などを食べるのは格別です」と今年の収穫に期待を寄せていました。

なお、産業振興課ではこの他にもさまざまな農業体験教室を実施しています。（詳細は25頁参照）



手植え作業を行う参加者



カンボジア国研修生が男女共同参画を学ぶ JICAジェンダー主流化プロジェクト

5月28日、（独）国際協力機構（JICA）が実施する「カンボジア国ジェンダー主流化プロジェクト フェーズ2」の研修生が、町内にあるJA埼玉中央鳩山直売所とおしゃもじ食品を視察しました。

研修は、日本の男女共同参画推進の実情を知り、女性の社会・経済的地位向上についての取り組みを学ぶものです。研修生は、視察先で農産物の流通や、農業女性起業グループの特産品づくりへの取り組みなどを学び、交流会では熱心にさまざまな質問をしていました。

おしゃもじ食品の加工品について説明を受ける研修生